

目次

目次2
はじめに10
WebMan Controls for ASP.NET について10
開発ライセンス12
サーバー・ランタイム・ライセンス12
禁止事項13
保証規定13
ユーザー・サポート13
販売元16
開発元、 ユーザーサポート16
インストール 17
システム条件
1ンストールの美行
彩品モンュール−覧17
アンインストール
コントロールの利用方法20
プロジェクトタイプについて
WebForm について
ツールボックスへの登録
リノノルの美门
ウェブ・コンポーネント・リファレンス
ALPHALABEL
(戦安
ノロハティ
EndX
OpacityStyle
EndOpacity 30
StartOpacity
5tartA
BarChart
概要
プロパティ32

BackColor	32
BarWidth	32
BorderColor	32
BorderStyle	32
BorderWidth	33
Caption	33
CaptionColor	33
CaptionFont	33
Data	34
ImageFileFormat	34
ImageFileName	34
ImagePathName	34
MaxValue	35
MinValue	35
OrgX	35
OrgY	35
ShadowColor	36
ShadowSize	36
SideMargin	36
Sort	36
TopMargin	37
XAxisFont	37
XAxisStringFormat	37
YAxisDivision	38
YAxisFont	38
YAxisSubLineLength	39
YAxisTextColor	39
YAxisTextStringFormat	39
YAxisUnit	39
メソッド	40
BuildImage	40
BARCODE	40
概要	40
ポン・ プロパティ	10
	40
	40
DigitFont	41
Direction	41
ImageFileName	41
ImageFilePath	41
	42
	42
メゾット	42
BuildImage	42
CLIENTDATA	49
概要	43
プロパティ	43 43
	43 43 43
Delimiter	43 43 43 43
Delimiter Items	43 43 43 43 43
Delimiter Items Value	43 43 43 43 43 43
Delimiter Items Value	43 43 43 43 43 43 44 44

概要	44
プロパティ	44
DronShadowEffect	
DropShadowOffset	45
ShadowColor	45
ShadowDirection	45
ShadowEffect	
ShadowStrength	46
TargetNames	46
COMBOBOXEX	
超重	16
NUC	40
利用彻 ' 注息争垻	47
フロバティ	47
ClientDataID	47
DropDownRows	47
DropShadowEffect	48
DropShadowOffset	48
ImageFileName	48
ImeMode	48
Items	49
ShadowColor	49
ShadowDirection	49
ShadowEffect	49
ShadowStrength	50
TextAlign	50
DATEINPUT	50
概要	50
プロパティ	50
ClientValidation	50
DateInnutFormat	50
DateI abelStyle	51
DateTevtStyle	51
DefaultDay	51
DefaultMonth	52
DefaultVear	52
DATEINDUT IP	02 52
版 版 西	59
1ᄣᅎᆇ ᅻᇊᆘᅊᅳᆺ	J&
	53
ClientValidation	53
DateInputFormat	53
DateLabelStyle	53
DateTextStyle	53
DefaultDay	54
DefaultEra	54
DefaultMonth	54
Default Year	54
ShowEraCombo	55
DIGITINPUT	55
概要	55

プロパティ	55
ClientSumID	55
Comma	56
DecimalPoint	56
DropShadowColor	56
DropShadowEffect	57
DropShadowOffset	57
PositiveOnly	57
ShadowColor	57
ShadowDirection	57
ShadowEffect	58 50
ShadowStrength	38 50
Surprext Taxt	30 58
Text Align	50 59
DPOPSHADOWI ABEI	59
版西	50
100.女	
ShadowColor	59
ShadowOffset	59
FADELABEL	60
概要	60
プロパティ	60
Duration	60
FadeOnClick	60
GLOWLABEL	61
概要	61
プロパティ	61
GlowColor	61
GrowStrength	61
GRADIANTBUTTON	61
概要	61
プロパティ	62
DrowTextShadow	62
TextTonMargin	62
IMAGEEX	62
概要	62
マロパティ	02 62
ノロハリ1 ph	03
DIUT	03 69
Engrava	03 62
Engrave	03 64
GravScale	64
Invert	64
MakeShadow	64
Mask	64
MaskColor	65
Mirror	65

Opacity	. 65
PixelRadius	. 65
Rotation	. 66
ShadowOpacity	. 66
Xray	. 66
IMAGE'I'RANS	.66
概要	.67
プロパティ	.67
Bands	. 67
BlindDirection	. 67
Direction	. 67
Duration	. 68
FadeOverlap	. 68
GradientSize	. 68
GridSizeX	. 69
GridSizeY	. 69
ImageFileNames	. 69
ImagePathName	. 70
IrisStyle	. 70
MaxSquare	. 71
Motion	. 71
RadialWipeStyle	. 71
ShowProcName	. 72
SlideStyle	. 72
Spoke	. 72
SquaresX	. 72
SquaresY	. 73
StretchStyle	. 73
StripMotion	. 73
TogglieProcName	. 74
TransType	. 74
WipeMotion	. 75
MOTIONLABEL	.75
概要	.75
プロパティ	.75
Direction	. 75
Strength	. 76
PREFCODE	.76
概要	.76
プロパティ	76
	. 70
	. 70
	. / /
CodeChanged	. 77
PIECHART	.77
概要	.77
プロパティ	.78
Caption	. 78
CaptionFont	. 79
CaptionHeight	. 79

Data	. 79
ImageFileFormat	. 79
ImageFileName	. 80
ImageFilePath	. 80
LegendAlign	. 80
LegendFont	. 80
SideMargin	. 81
ShadowColor	. 81
ShadowSize	. 81
ShowLegend	. 81
Sort	. 81
TopMargin	. 82
メソッド	. 82
BuildImage	. 82
PROGRESSBAR	. 82
概要	. 82
プロパティ	.83
CurrentValue	. 83
Direction	. 83
ForeColor	. 83
MaxValue	. 83
MinValue	. 84
Text	. 84
イベント	.84
GroupClicked	84
ItemClicked	. 84
SHADOWLABEL	.84
概要	84
マロルティ	95
	.0J
ShadowColor	. 83 05
ShadowStrongth	. 00 05
ShoptCuttMenu	. 0J 05
WITT	.00
慨安	.80
フロバティ	.86
ButtonFont	. 86
CurrentGroupIndex	. 86
DownArrowImageFileName	. 87
Group	. 87
ImageFilePath	. 88
	. 88
SCGroup オフジェクトフロバティ	. 89
Caption	. 89
SCItem オブジェクトプロパティ	. 89
Caption	. 89
ImageFileName	. 89
ItemID	. 89
URL	. 90
イベント	. 90

GroupClicked	90
ItemClicked	90
SLIDERBAR	90
概要	90
プロパティ	91
CurrentValue	91
Direction	91
ImagePath	91
MaxValue	92
MinValue	92
ScalePosition	92
SPINEDIT	92
概要	93
プロパティ	93
Delta	93
DronShadowEffect	93
DropShadowOffset	93
ShadowColor	94
ShadowDirection	94
ShadowEffect	94
ShadowStrength	94
TAXINPUT	95
概要	95
微文 プロパティ	05
	95
Comma Docimal Point	9J 05
DronShadowEffect	90 90
DropShadowOffset	96
PositiveOnly	00
ShadowColor	00
ShadowDirection	97
ShadowEffect	97
ShadowStrength	97
StripText	97
Tax	97
TaxInputStyle	98
Text	98
TextAlign	98
ТехтВохЕх	99
概要	99
プロパティ	99
DronShadowEffect	99
DropShadowOffset	99
ImeMode	99
ShadowColor	. 100
ShadowDirection	. 100
ShadowEffect	. 100
ShadowStrength	. 100
TextAlign	. 101

WEBMENU	101
概要	101
プロパティ	
Caption	101
MajorIndex	102
MinorIndex	103
MouseBackColor	103
MouseForeColor	103
Selected	
概要	104
プロパティ	104
Add	104
Frequecy	104
LightStrength	
Phase	105
慨安	
フロハテイ	105
MajorCode	105
MinorCode	
Text	
TextAlign TaxtStula	106
	100
FAQ – よくあるご質問	108
Q1 BarChart/BarCode/PieChart のイメージが書き込めない.	108
Q2 実行環境 IIS の設定について	108
Q3 ImeMode が Disable にならない	109
Q4 CssClass プロパティについて	109
Q5 テーブルにセットしたコントロールが実行時に表示が下にズ	レる 109
APPENDIX-A C#サンプル・コード	111
BorChart A のデータロード	111
	111
DigitInput の初期値設定	
WebMenu へのテータロード	111
APPENDIX-B VISUAL BASIC.NET サンプル・コード	113
BarChart データロード	
WebMenu データロード	
WEBMAN CONTROLS FOR ASP.NET 調查依賴	114

WebMan Controls for ASP.NETについて

このたびはWebMan Controls for ASP.NETをお買い上げくださり、まこ とにありがとうございます。WebMan Controls for ASP.NETはVisual S tudio.NET標準のWeb From Controlの機能を補完する25種類のカス タム・ウェブ・コントロールをパッケージした製品です。以下のようなカス タム・コントロールが同梱されています。

AlphaLabel	アルファ・ブレンド・フィルター効果を付加できるラ
	ベル・コントロール
BarChart	バーチャートをイメージ表示するコントロール
BarCode	バーコードをイメージ表示するコントロール
ClientData	クライアント(ブラウザー)にデータを保持するコン
	トロールです。ComboBoxExのリスト部分を保持す
	ることができます。共通する選択肢が複数のCom
	boBoxExで参照される場合にクライアントへのデー
	タ転送量を減らすことができます。
ClientSum	ウェブフォームに張った数値表示コントロールの
	値を合算して表示します。数値表示はカンマ区切
	りで表示することが可能です。集計のタイミングは
	指定したコントロールの変更イベントやフォーカス
	イベントを指定してウェブサーバーにポストバック
	する以前に集計表示することができます。
ComboBoxEx	標準のDropDownListでは実現できない文字列入
	カとリスト選択が同時に可能なコンポジットコント
	ロールです。Imeモード設定、シャドウエフェクト等
	の拡張も追加されています。ClientDataコントロー
	ルとの併用でクライアント(ブラウザー)に転送する
	データ量減らす事が可能です。
DateInput	日付入力専用のコンポジットコントロールです。
DateInputJp	年号選択セレクタを表示可能な和暦入力専用の
	コンポジットコントロールです。
DigitInput	数値入力専用TextBoxコントロール。数値以外の
	入力を不可としカンマ表示、固定小数点表示など
	か可能です。業務用アプリケーションには必須の
	機能を付加。
DropShadowLabel	ドロップ・シャドウ・フィルター効果を付加したラベ
	ル・コントロール

FadeLabel	フェードイン、フェードアウトするラベルコントロー ル。
GlowLabel	グロー・フィルター効果を付加したラベル・コントロ ール。
GradiantButton	グラディアント効果を付加したボタンです。Window s XPのボタンのような効果をXP以外のOSで実行 するブラウザーでも表示可能とします。
ImageEx	拡張イメージ表示コントロール。回転、反転、エン ボス、グレイ・スケールなど基本的な効果に加えて エングレーブ等やマスクなども高度な効果が可 能。
ImageTrans	イメージ遷移エフェクトコントロール。複数のイメー ジをエフェクトを不可して切り替え表示します。17 種類のエフェクトをサポート。
MotionLabel	モーション・フィルター効果を付加したラベルコント ロール。
PerfCode	日本の都道府県コードを選択可能とするセレクタ コントロール。
PieChart	パイチャートをイメージ表示するコントロール。
ProgressBar	プログレス・バー。
ShadowLabel	シャドウ・フィルター効果を付加したラベル・コント ロール。
ShortCutMenu	Microsoft OutLookのショートカット・メニューのよう な外観をWebブラウザー上に実現するコントロー ル。
SliderBar	マウスにより値が設定できるスライダーによる数 値入力コントロール。
TaxInput	DigitInput入力を縦に並べたコンポジット・コントロ ールです。上段に金額を入力すると下段に消費税 額を計算して自動的に表示します。会計伝票入力 処理画面専用の入力コントロールです。
TextBoxEx	lme制御、 シャドウ効果、 ドロップシャドウ効果を付 加した拡張テキストボックス
WaveLabel	ウェーブ・フィルター効果を付加したラベル・コント ロール。
WebMenu	ウェブ上でプルダウンメニューを実現します
ZipCodeInput	郵便番号入力専用コントロール。数値以外をマス クし3+4桁に分けて郵便番号を入力するコンポジッ トコントロール。

以下は製品の特徴です。

- Webアプリケーション開発効率を上げるカスタムコンポーネントを 厳選しました。
- 100% CLR(Common Language Runtime)で動作するC#言語で記述されたウェブ・サーバー・コンポーネントです。
- クライアントのブラウザにはhttpのみで送信する完全なサーバー・ コントロールです。クライアントに特別なCOMコンポーネント等の 配布は必要ありません。
- Visual Studio.NET日本語版での動作を保証。VB.NETとC#のサン プル・コードを提供。

<u>開発ライセンス</u>

開発ライセンスとは、開発者1名が1台のコンピュータ・システムで開発 環境を利用することが出来る権利です。複数のコンピュータ・システム へのインストール、複数人での使用は著作権法違反となりますので、 御注意ください。以下、開発者ライセンス使用権を単に使用権と記述し ます。

- WebMan Controls for ASP.NETの使用権はいかなる方法に よっても第三者に譲渡および貸与することは出来ません。
- 使用権はWebMan Controls for ASP.NETパッケージを開梱したときに発効します。
- 使用権は以下のいずれかの事由が起こった場合に消滅します。

WebMan Controls for ASP.NETに同封されているユーザー登録書を返送しない場合。

使用規定に違反した場合。

プログラム・ディスク、印刷物などを使用権の範囲外の目的で 複製した場合。

<u>サーバー・ランタイム・ライセンス</u>

本製品にはサーバー・ランタイム・ライセンスが含まれていません。本 製品をご利用になり開発された Web サイトを運用する場合は別途サー バー・ライセンスをご購入ください。サーバー・ライセンスの詳細につき ましては販売会社までお問い合わせください。

禁止事項

当製品の不正複製およびリバースエンジニアリングを禁止します。

保証規定

当製品、および付随する著作物に対して商品性及び特定の目的への 適合性などについての保証を含むいかなる保証もそれを明記するしな いに関わらず提供されることはありません。

当製品の著作者及び、製造、配布に関わるいかなる者も、当ソフトウェ アの不具合によって発生する損害に対する責任は、それが直接的であ るか間接的であるか、必然的であるか偶発的であるかに関わらず、負 わないものとします。それは、その損害の可能性について、開発会社 に事前に知らされていた場合でも同様です。

ユーザー・サポート

 ユーザー登録 まことにお手数ですが販売会社システム・ラボにてユーザー登録 録をお願いします。ユーザー登録が行われていないとお客様 がユーザー・サポートが受けられない場合がございます。

● お問い合わせの方法

どうしても解決できない問題が発生した場合には、技術サポートをご利用ください。あらかじめ後ページの調査依頼書にお問い合わせ事項を記入していただき、ファックス、またはインターネット・メールでお送りいただければ、折り返しご連絡をさせていただきます。当製品につきましては、複雑な内容のお問い合わせになることが多い為、電話によるユーザーサポートはいたしておりませんので、ご了承をお願いいたします。また、問い合わせの内容によっては、調査などのために、回答に時間がかかる場合がありますので、かさねてご了承をお願いいたします。

 登録内容の変更について 転居などによるご住所や電話番号など登録内容に変更が生じ た場合には、メールまたはファックスにて、販売会社システム・ ラボまでご連絡をいだだきますようお願いいたします。なお、 電話による口頭での連絡変更は受けかねますのでよろしくお 願いいたします。

- 併用される他社製品について
 当社製品と併用される、他社製品の使用方等についてのご質
 問をお受けすることがあります。しかし、他社製品に関しましては、お答えできない場合があります。他社製品につきましては、該当開発・販売会社にご連絡ください。
- サポート対象

ご質問はご登録ユーザー様に限定させていただきます。ご登録ユーザー様以外からのご質問にはお答えできません。当ソフトウェアの料金にはご登録ユーザー様1名に限りサポート料が含まれています。途中から御担当者が変わられる場合は別途サポート料金について御相談ください。

● サポート期間

製品のユーザー登録後、初回のお問い合わせから90日間は 無償サポート期間とさせていただきます。また無償サポートは 4件を上限とさせていただきます。無償サポート上限を超える 場合には無償サポート終了以降もサポートをご希望の場合は 有償サポートを承ります。有償サポートにつきましては販社シ ステム・ラボにてお取り扱いしております。キャンペーン製品な どディスカウント販売に該当する製品では無償サポート期間お よび回数の設定が短くなる場合がありますのであらかじめご 了承ください。

- 最新版のご提供について 弊社webにて最新版の実行モジュールや技術情報、サンプ ル・コードの提供をしてしておりますのでサポートにご連絡にな る前に弊社webをご参照いただけるようお願いいたします。UR Lは<u>http://www.techknowledge.co.jp</u>となります。
- ご質問の内容について 製品サポートは当製品に関連するご質問に限定させていただ きます。例えば「ASP.NETでの文字の検索方法」や「WindowsX PでのTCP/IPの設定」などをご質問されても返答いたしません。 あらかじめご了承ください。
- 連名でサポート依頼される場合
 連名でサポート依頼される場合はご質問の人数分のシリアル
 番号を依頼用紙に明記してください。1シリアル番号に対して
 複数の連名でサポート依頼されるお客様、1シリアル番号で複数の開発者の方からのサポート依頼されるお客様につきましては、不正コピー使用とみなし、サポートを打ち切らさせてい

ただきます。

- サポート依頼について ご質問はできるだけ詳細に状況をお伝えください。「アプリケー ション・エラーxxxx:yyyyが出た。」とだけ記述してご質問なさる お客様がいらっしゃいますが、これだけではWindowsの環境で は原因の診断ができません。このような場合オペレーション、 ソース・コード等の詳細をご記述ください。場合によっては問題 解決の為、ソース・コード等、再現可能な環境一式をお送りい だだくことをお願いする場合もございます。そのような場合お 送りくださったメディアは返却いたしません。インターネットメー ルにてお送りいただく場合、サイズが大きい場合にはあらかじ めメールにてご相談ください。
- 環境変更後のエラー等について 「xxxxというソフトをインストールしたらWebManの動作がおかし 〈なった」というようなご相談を最初に弊社サポートにご相談に なる前に環境を変えてしまった元のソフトのサポートに先にご 相談いただけますようお願いいたします。

<u>販売元</u>

System. Lab.

(株)システム・ラボ

東京都杉並区上荻1	丁目5番8号 直長ビル7F
電話	03-5397-7511
FAX	03-5397-7521
Internet-Mail	info@systemlab.co.jp
URL	www.systemlab.co.jp



東京都世田谷区駒沢2丁目16番1号 サンドービル9F 電話 03-3421-7621 FAX 03-3421-6691 Internet-Mail info@techknowledge.co.jp URL www.techknowledge.co.jp

本マニュアルに記載される商標、登録商標は該当会社の商標または 登録商標です。

インストール

WebMan Controls for ASP.NETのインストールについて説明します。

<u>システム条件</u>

WebMan Controls for ASP.NETのインストールに先立ってMicrosoft Visual Studio .NET日本語版が動作する環境が設定されている必要があります。サポートするOSとIISのバージョンはVisual Stuio.NETに準拠します。

Windows 環境のブラウザーは Microsoft Internet Explorer 5.0 以上 を推奨します。一部のコントロールは同プログラムのバージョン 4.0 では動作しない機能を使っています。

<u>インストールの実行</u>

WebMan Controls for ASP.NET 開発パッケージをインストールする手順について説明します。

Windows のプログラム・マネージャーまたはエクスプローラー等か ら WebMan のインストール CD にある setup.exe を実行します。 setup.exe の質問に答えてインストール・ボタンをクリックし、メッセ ージに答えてディスケットを入れ替えると、自動的にインストール が終了します。インストールが正常に終了すると WebMan のプロ グラム・グループが作成されます。

readme.html ファイルにはマニュアルに記述されていない最新情報が 記述されています。最新情報が記述される場合もありますので、必ず ご一読ください。

製品モジュール一覧

Windows のインストール・ディレクトリを<windir>, WebMan 製品のイン ストール・ディレクトリを<instdir>とした場合に、本製品がインストールす るファイルの一覧を示します。デフォルトインストール時には<indtdir>は C:¥Program Files¥TechKnowledge¥WebMan Controls for ASP.NET と

なります。

モジュール名とパス	内容
<instdir>¥bin¥WebMan.dll</instdir>	サーバーコンポーネント
<instdir>¥doc¥webman200.pdf</instdir>	当マニュアル
<instdir>¥doc¥readme.html</instdir>	README ファイル
<instdir>¥images¥*</instdir>	スライダー用イメージ
<instdir>¥samples¥cs¥*.*</instdir>	C#サンプル・ファイル
<instdir>¥samples¥vb¥*.*</instdir>	Visual Basic サンプルファイル

<u>自動アンインストール</u>

コントロール・パネルの「アプリケーションの追加と削除」メニューから W ebManControls Pack for ASP.NET を選択することでアンインストール が可能です。以下は操作手順です。

「設定」メニューから「コントロール・パネル」を選択

アプリケーションの追加と削除をダブル・クリック

「セットアップと削除」タブのリスト・ボックスから「WebMan Controls for ASP.NET」を選択

「追加と削除」ボタンをクリック

<u>手動アンインストール</u>

間違えてインストールしたフォルダーを削除した場合や、上書きインス トールして自動アンインストール出来なくなった場合には以下の手動で アンインストールしてください。

コマンドプロンプトを起動します。

インストール・ディレクトリに移動します。デフォルト・インストール では c:¥Program Files¥techknowledge¥WebMan Controls for A SP.NET となります。

インストール・ディレクトリを削除します。

rmdir /s "c:¥Program Files¥TechKnowledge¥WebMan Controls for ASP.NET"

を実行してください。

WebMan メニューを削除します。ショートカットなどを作成した場合 も同様に削除します。

コントロールの利用方法

<u>プロジェクトタイプについて</u>

WebMan Controls for ASP.NET は Visual Studio.NET の ASP.NET Web ア プリケーション専用コントロールです。以下は ASP.NET Web アプリケーショ ンを新規に開始する場合の選択画面例です。

新しいプロジェクト				×
プロジェクトの種類化と		テンプレートの		188 註
Visual Basic フ Visual C# Vit Visual C# Vit Visual C# フロ Visual C** フロ Visual C** フロ セットアップ/デブ Visual Studio S	ロジェクト デント ジェクト ジェクト ロイメント プロジェクト クト ガューション	(1) Windows アフリ クラ サーション スマート デバイ 約3 スマート デバイ 約3	 シープジリ シープジリ ア・NET Web リケーション 	Mindows ID- D-A 9-(79) ASP.NET Web T-CZ
7091914000	WebApplication1			
場所した	http://loca.host/WebApplication1		*	参照(10)
プロジェクトは http://loca	Rost/WebApplication1 に作成されます。			
*I#88(E)	08	***>*		ハル

ご利用になる言語は Visual Basic.NET または Visual C#, Visual J#を選択 してください。(2002 年 3 月にリリースされた Visual Studio.NET では ASP.N ET Web アプリケーションは C#, VB.NET 2 種類の言語でのみ作成可能とな る場合があります)

今後サポートする言語が追加される場合がございます。対応言語の状況に つきましては開発会社の Web サイトでご確認ください。

<u>WebFormについて</u>

ASP.NET プロジェクトを選択するとフォームが WebForm が表示されます。デ フォルトで pageLayout プロパティはグリッドレイアウトモードにある旨の表示 がありますが、WebMan Controls for ASP.NET の Web Control はすべてこ のグリッドレイアウトモードでのみ利用することが可能になっておりますので ご注意ください。FlowLayout を選択した場合にはコントロールを WebForm には設定できません。

90 WebForm1.aspx		
	:::::	
↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓	£1111	
UTy)を使って盛列にれます。		
::::::::?p= レイアウト ワード プロセッシング ドキュペントのように上下に整約0 を使用する	51111	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
G FHA> B HTML		

<u>ツールボックスへの登録</u>

ツール・ボックスへの WebMan Controls for ASP.NET の追加方法を説明し ます。最初に WebMan という名前でタブを追加します。ツール・ボックスをマ ウスの右クリックして表示されるメニューから「タブの追加」を選択し、WebMa n と入力します。以下のイメージは右クリックにより表示されるメニューです。

5	ツール	лжурд + ×
	データ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
$\sum_{n=1}^{\infty}$	Web 1	7*-4
í	コンボ	
米	buw:	・・・・
影	全般	
え	k	ポインタ
	X	切り取り(工)
		⊐Ľ−M
	6	貼り付(ナ(<u>P</u>)
	$ \times $	肖/『赤(D)
		項目名の変更(<u>R</u>)
		ツールボックスのカスタマイズ ∞
		タブの追加(<u>A</u>)
		項目をアルファベット順に並べ替え(0)
		すべてのタブを表示(ら)
	~	一覧の表示(L)
		上へ移動(<u>U</u>)
		下へ移動(型)

タブの追加により WebMan というタブが追加されたらそのタブを選択し、再 度マウスの右クリックによりメニューを表示し、「ツール・ボックスのカスタマイ ズ」を選択します。(Visual Studio.NET 2003 では「アイテムの追加と削除」 に変更なっています)ダイアログが表示されたら「.Net Freamwork コンポー ネント」のタブを選択します。以下は 2002 年版の Visual Studio.NET での 「ツールボックスのカスタマイズ」画面です。

名称	北航空間	782/708	54
ADODO	Microsoft Visual Basic Compatibil	Microsoft Visual Basic Compatibility Data (7.0.	1
ADODOAnay	Microsoft Visual Basic Compatibil	Microsoft Visual Basic Compatibility. Data (7.0	10.
AdPotator	System Web UI WebCorviols	System, Web (1.0.3300.0)	6
Accentityinstaller	SystemConfigurationInstall	System Configuration Install (1.0.33000)	1
Button	System Windows Forms	System Weekwa Forma (1.0.33000)	Ε.
Button	System Web UDWebControls	System, Web (1.0.3300.0)	Ε.
ButtonArray	Microsoft Visual Basic Compatibil.	Microsoft Visual Basic Compatibility (7.0.2000	н.
Celendar	System Web UDWebControls	Eysters/Web (1.0.0000.0)	н.
Check:Box	System Windows Forma	System Windows Farms (1.0.000001)	- 62
Thank Bro	Surface Math III Math/Sourcedo	S-rive Web (103301/0)	1
ADODG		20. Internet	
(4) III invert	ant 1218 Gevenient 20	金相(E)	-
15-541 70:33	000 (847,885)		

以下は Visual Studio.NET 2003 での「アイテムの追加と削除」 画面です。

名称	毛術空間	7世ング以名	5.
A0000	Microsoft Visua Basic Compatibil	Microsoft Visual Basic Compatibility Data (7.0.	t.
AD0DOAnay	Microsoft Visual Basic Compatibil	Microsoft Visual Basic Compatibility Data (7.0	2
AdRotator	System Web UI MobileControls	System Web Mubile (1.05000.0)	£
AdPotator	System/Web/UDWebControls	System/Web (1.0.5000.0)	6
AlphaLabel	Web Man	Web/Mary 0.0.1395.30778F	1
Accentbly frontaller	System/Configuration/Install	SystemConfiguration Install (1.0.5000.0)	- 61
BerChart	Web Man	WebMan (1.0.1395:307793)	1
BarCode	Webs Marri	Web/Mars 0.0.1305.007701	10
Button	System Windows Forms	System CF Windows Foreis (7.0.5000.0)	2
Distant .	Contain Mexican Encar	Surday Workser Enger (1.05000.0)	ĽÍ.
ADODG		4.87.00	
(4) 市田 Invert バージョン、7000	ant 1010 Givanavit 100	deer (D)	-

画面が上記のような状態になったら「参照ボタン」を押し、c:¥program files ¥TechKnowlede¥WebMan Controls for ASP.NET フォルダーにある WebMa n.DLL ファイルを指定します。WebMan.DLL を指定した直後の画面は以下 のようになります。ここで利用しないコンポーネントがあればチェックを外します。

6M	毛術空間	78:/798	15.
ADODO ADODOArray	Microsoft VisualBasic Compatibil. Microsoft VisualBasic Compatibil. Sectors Web URMebControls	Microsoft Visual Basic Compatibility Data (70., Microsoft Visual Basic Compatibility Data (70., Sectors Web, 0.0300.00	0.0.0
Achelabel	Web Mart	Web/May 11.0.041 (29656)	-1
Accertity	Sectem/ConfigurationInstall	System Configuration Install (0.0.33000)	
BerChief	Web Man	Web/Mart 11.0.841 200581	
Button	System Windows Forma	System, Windows, Formal (1.0.300000)	
Dutton	System Web UDWebControls	System/Web (1.0.0000.0)	1.
ButtonArrey	Microsoft Visual Basic Compatibil	Microsoft Visual Basic Compatibility (7.0.3000	£.
Talarda 1	Contaca Main III Main/Sourcesto	S-reading (10 2000)0)	1
Alphalabel		ALE (D)	
A 意語 inver	ant 當語 Greatiant ED	Sheet (D)	×
AlphaLabel 人 意語 inver	ant 1218 Gevariant 120	参数(E)	2

上記画面で OK を押してダイアログを閉じるとツール・ボックスには WebMan コントロールが追加されます。



あとはコントロールをツール・ボックスからドラッグして WebForm に貼り付け ることで WebMan コントロールをご利用いただけます。プロパティやイベント の利用方法は標準のコントロールと同様になりますのでマイクロソフトのマ ニュアル等をご参照ください。

また、複数回コントロールを追加する場合にはツール・ボックスの状態をりセットしてから WebMan.DLL を追加していただければ整理が簡単になりますのでお試しください。

この章では WebMan Controls for ASP.NET に添付されるサンプルの 実行方法を説明します。

WebMan Controls for ASP.NET にはある程度コードが必要なコントロ ールについては以下のようなサンプルが添付されます。

単に WebForm に張るだけで動作するコントロールに関しては特にサン プルはご用意がございませんのであらかじめご了承ください。

サンプルプロジェクトは 2002 年版の Visual Studio.NET で作成されて います。Visual Studio.NET 2003 でプロジェクトを開くと以下のようなダ イアログが表示されます。



上記メッセージ「はい」ボタンをクリックすることでサンプルプロジェクトを 変換してご利用ください。

ファイル名	概要
ChartSample	チャートの利用方法
SliderSample	スライダーの利用方法
MenuSample	メニューの利用方法

サンプルは VB.NET/C#用の2種類が Samples フォルダー以下のそれ ぞれ VB/CS フォルダーにあります。サンプルを実行するにはご利用に なる言語で新しく ASP.NET プロジェクトを開始していただき、WebMan への参照設定をしていただき、そこに既存アイテムとして上記フォルダ ーから WebForm を追加していただくことで、簡単に実行可能になりま すのでご確認ください。

<u>参照の追加手順</u>

新しく開始した ASP.NET プロジェクトへの WebMan 参照の追加は、ソリ ューション・エクスプローラの「参照設定」をマウスで右クリックして表示 されるメニューから「参照の追加」を選択します。 以下のダイアログが表 示されますので、「参照」ボタンを押して、インストール・ディレクトリの bi n フォルダにある WebMan.DLL を指定します。

工/#-22/4名	18-242	•	999.QD.
System Plantine Serialization Forma Souten Plantine Serialization Forma System Service Process all System Web Regular Expressions d'Il System Web Services d'Il System Veb Services d'Il System Veb Services d'Il System	1.030000 1.030000 1.030000 1.030000 1.030000 1.030000 1.030000 1.030000 7.030000 7.030000 7.030000	CAMENT THEOROGUE NET Wire seen. CAMENT THE SECOND	389712)
新艺科之工/用一年2十级》	2051		L. PALICA
レオーネント名	種類	12-2	BIBBILD
AdoMan.dl	2*1#	CAProgram Files/Tech/nowledge/W.	

参照設定されたソリューション・エクスプローラの状態は以下のようになります。



サンプルの ASP.NET プロジェクトへの追加

ソリューション・エクスプローラでプロジェクト名をマウス右クリックして表示されるメニューから「追加」を選択します。そのサブ・メニューから「既存項目の追加」を選択し、表示されるダイアログでインストールディレクトリ以下の samples¥cs または samples¥vb フォルダから「ファイルの種類」を「すべてのファイル」に設定して複数ファイルを選択して OK を押します。以下はファイルを選択するダイアログです。



ー度にすべてのサンプルを選択して ASP.NET プロジェクトに追加する のが簡単ですが、拡張子 aspx, aspx.cs, aspx.resx のファイルを3つ 追加することで WebForm として動作するようになることにご注意くださ い。(C#プロジェクトの場合)

ウェブ・コンポーネント・リファレンス

この章では WebMan Controls for ASP.NET ウェブ・コンポーネントのプロパ ティ、メソッド、イベントについての説明をします。ここでの説明は各カスタム・ コントロールに特殊なプロパティ、イベント、メソッドについて説明します。ベ ースになる WebServer コントロールに共通のプロパティ(例えば Font や Ba ckColor 等)につきましてはマイクロソフトのマニュアルやダイナミック・ヘル プ等に詳細な記載がありますのでそちらをご参照ください。

相野 AlphaLabel は通常のラベルコントロールに Alpha ブレンド効果を付加したものです。以下のような実行時イメージになります。 Appalabel グロパティ EndX 概要 Alpha 効果を適用を終了するX位置を指定します。 デーク型 Int32

概要

Alpha 効果を適用を終了する Y 位置を指定します。

<u>データ型</u> Int32

OpacityStyle

概要

Alpha 効果のスタイルを設定します。Uniform, Linear, Radial, Rectang ular を選択できます。

<u>データ型</u>

WebMan.AlphaStyle

<u> EndOpacity</u> <u> 概要</u> 終了位置の透過度を指定します。範囲は 0 ~ 100 となります。 <u> データ型</u> Int32 <u> StartOpacity</u> <u> 概要</u> 開始位置の透過度を指定します。範囲は 0 ~ 100 となります。 <u> データ型</u> Int32 <u> StartX</u>

概要

Alpha 効果を適用を開始する X 位置を指定します。

<u>データ型</u> Int32

StartY

<u>概要</u>

Alpha 効果を適用を開始する Y 位置を指定します。

<u>データ型</u> Int32

BarChart

概要

バーチャートを表示するコンポーネントです。以下はサンプルのイメージです。



上記のデータを表示するページの初期化時に以下ようなコードを実行します。

```
private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
    WebMan.ChartData [] dt1 =
    {
        new WebMan.ChartData("BMW", 20, Color.Red),
        new WebMan.ChartData("Mercedes", 12, Color.Blue),
        new WebMan.ChartData("VOLVO", 16, Color.Green),
        new WebMan.ChartData("Toyota", 10, Color.CornflowerBlue),
```

```
};
BarChart1.BarWidth = 20;
BarChart1.MinValue = 8;
BarChart1.YAxisDivision = 6;
BarChart1.Data = dt1;
BarChart1.BuildImage();
}
```

<u> プロパティ</u>

外観に関するプロパティは BuildImage メソッドが実行されるまで表示に反映 されないことにご注意ください。

BackColor

<u>概要</u> グラフの背景色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

BarWidth

<u>概要</u> 棒グラフの幅を pixel 単位で指定します。

<u>データ型</u> Int32

BorderColor

<u>概要</u> 棒グラフのボーダー色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

BorderStyle

<u>概要</u> 棒グラフのボーダースタイルを指定します。

<u>データ型</u>

System.Web.UI.WebControls.BorderStyle

BorderWidth

<u>概要</u> 棒グラフのボーダー幅を指定します。

<u>データ型</u> System.Web.UI.WebControls.Unit

Caption

<u>概要</u>

キャプション文字列を表示します。表題としてグラフの上部にセンタリン グして表示されます。

<u>データ型</u> String

CaptionColor

<u>概要</u> 表題の表示色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

CaptionFont

<u>概要</u> 表題の表示フォントを指定します。

<u>データ型</u>

System.Drawing.Font

Data

概要

チャートに表示するデータを指定します。ページをロードするタイミング で指定し、BuildImage メソッドを呼び出しチャート・イメージを作成します。

<u>データ型</u>

WebMan.ChartData

ImageFileFormat

<u>概要</u>

BuildImage メソッドにより作成されるイメージファイルの形式を指定しま す。初期値は GIF です。変更する場合には ImageFileName プロパティ の拡張子と合致して Web で表示可能なイメージ・タイプを指定します。 (System.Drawing.Imaging.ImageFormat を利用しているため一部 Web では表示出来ないファイル形式も選択可能なのでご注意〈ださい)

<u>データ型</u>

System.Drawing.Imaging.ImageFormat

ImageFileName

概要

BuildImage メソッドにより作成されるイメージのファイル名を指定します。 当プロパティで指定されるイメージファイルが初期状態で存在しない場 合にはイメージが存在しない旨を表すアイコンが表示されますのでご 注意ください。

<u>データ型</u> String

ImagePathName

<u>概要</u>

BuildImage メソッドにより作成されるイメージのパスを指定します。サー

バーコンポーネントがアクセス可能で書込み可能なパスを指定します。

<u>データ型</u> String

String

MaxValue

<u>概要</u>

Y 軸の最大値を指定します。Data プロパティで指定される各データ・ア イテムの値より大きい値を指定してください。値0を設定された場合に は自動的にデータ・アイテムの最大値を設定します。

<u>データ型</u> double

MinValue

<u>概要</u>

Y 軸の最小値を指定します。Data プロパティで指定される各データ・ア イテムの最小値より小さい値を指定してください。値0を指定された場 合は自動的にデータ・アイテムの最小値を設定します。

<u>データ型</u>

double

OrgX

概要

原点のX位置を指定します。グラフの左端からの pixel 数を指定します。 SideMargin 以上で描画領域を越えない値を指定します。

<u>データ型</u> Int32

OrgY

<u>概要</u>

原点のY位置を指定します。グラフの上端からの pixel 数を指定します。

TopMargin 以上で描画領域を越えない値を指定します。

<u>データ型</u> Int32

ShadowColor

<u>概要</u> 棒グラフの影の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowSize

概要

棒グラフの影のサイズを pixel で指定します。BarWidth 以上のサイズ は指定できません。サイズ 0 の場合は影を描画しません。

<u>データ型</u>

Int32

SideMargin

概要

グラフの左右のマージン値を pixel 指定します。グラフの描画範囲を超 えた値は設定できません。

<u>データ型</u> Int32

Sort

概要

Data プロパティで指定されたデータのソート指定をします。昇順・降順 が指定できます。

<u>データ型</u>
WebMan.SortOrder

TopMargin

概要

グラフの上部マージン値を pixel 指定します。グラフの描画範囲を超え た値は設定できません。

<u>データ型</u>

Int32

XAxisFont

<u>概要</u>

X軸のアイテム名を表示するフォントを指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Font

XAxisStringFormat

<u>概要</u>

X軸のアイテム名をフォーマットを指定します。

<u>データ型</u>

System.Drawing.StringFormatFlags

<u>サンプル</u>

以下は FitBlackBox を指定した場合のグラフサンプルです。



YAxisDivision

<u>概要</u>

Y軸の分割数を指定します。

<u>データ型</u> Int32

YAxisFont

<u>概要</u>

Y軸のアイテム名を表示するフォントを指定します。

<u>データ型</u>

System.Drawing.Font

YAxisSubLineLength

概要

Y軸の補助線の長さをピクセル数で指定します。

<u>データ型</u> Int32

YAxisTextColor

<u>概要</u>

Y軸の数値テキストを表示する色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

YAxisTextStringFormat

概要

Y 軸の数値テキスト変換文字列を指定します。書式の詳細はマイクロ ソフト Visual Stuio.NET のドキュメント、.Net Framework 開発者ガイド の「書式設定の概要」をご参照ください。

<u>データ型</u> String

YAxisUnit

概要

当プロパティに文字列を設定した場合は Y 軸の単位を Y 軸上部に表示します。フォントは YAxisFont を用います。表示色は YAxisTextColor

を用います。表示 Y 位置は Caption 指定や TopMargin 指定により十分な値が確保されている場合には Y 軸数値と同一間隔の位置に表示 されます。表示 X 位置は Y 軸数値と同一です。

<u>データ型</u> String

<u>メソッド</u>

BuildImage

<u>概要</u>

パイ・チャートのイメージを生成します。このメソッドを呼び出してイメージを作成するまでの初期状態ではイメージが存在しない状態でイメージタグが表示されるますのでご注意ください。

BarCode

概要

バーコードイメージを表示するコントロールです。以下はサンプル画面です。



<u> プロパティ</u>

CodeType

概要

表示するバーコードの規格を設定します。以下のバーコード規格を設定することができます。

JAN
UPC
ITF
NW7
CODE39
CODE128

<u>データ型</u> BarCodeType

DigitFont

概要

ShowDigit プロパティに True 設定をした場合に表示されるバーコード 数値のフォントを設定します。

<u>データ型</u>

System.Drawing.Font

Direction

<u>概要</u> バーコードの表示方向、(縦・横)を設定します。

<u>データ型</u>

BarCodeDirection

ImageFileName

<u>概要</u>

バーコードイメージを保持するファイル名を指定します。拡張子は.GIF を指定してください。

<u>データ型</u> String

ImageFilePath

ImageFileName を保存するウェブから参照できるでディレクトリを指定し ます。IIS の設定でこのプロパティに指定したディレクトリには IIS 実行 ユーザーがファイル書き込み可能と設定する必要があることにご注意 〈ださい。

<u>データ型</u> String

ShowDigits

概要

True 設定の場合はバーコードイメージの下部にバーコードの値(数字) を表示します。

<u>データ型</u>

boolean

Text

概要

バーコード値を設定します。CodeType プロパティによるバーコード形式 により指定できる文字列長が変化しますのでご注意ください。たとえば JAN 形式の場合であれば 9 文字または 13 文字の指定が必須になり ます。

<u>データ型</u> String

メソッド

BuildImage

概要

バーコードのイメージを生成します。このメソッドを呼び出してイメージ を作成するまでの初期状態ではイメージが存在しない状態でイメージ タグが表示されるますのでご注意ください。

ClientData

概要

クライアントに共通して参照されるデータを保持します。このコントロールに 設定されたデータは ComboBoxEx から ClientDataID プロパティを通じて参 照されます。Microsoft Development Envionment の WebForm デザイン時 にはコントロールのクライアント ID が表示されますが、実行時には隠し属性 を持つ input タグとして出力されます。



<u>概要</u>

データをクライアントに保持する最に複数データを区別するシングルバ イト文字1文字設定します。デフォルトはカンマです。設定値は保持す るデータ中に存在しない文字列を指定します。

<u>データ型</u> String

Items

概要

Value/Text の組み合わせでデータを指定したい場合にはこのプロパティを設定します。Microsoft Development Environment の WebForm デ ザイナーのプロパティ編集ボックスからコレクションエディターで設定す ることができます。Html コードに埋め込む場合は以下のようなコードに なります。

<cc1:ClientData id="ClientData1"runat="server"> <asp:ListItem Value="1000">牛乳</asp:ListItem> <asp:ListItem Value="2000">コーヒー</asp:ListItem> </cc1:ClientData>

<u>データ型</u> ListItem

Value

概要

単純な文字列をディリミターで区切って指定したい場合はこのプロパティで指定します。

<u>データ型</u> String

ClientSum

概要

ウェブフォームに張った数値表示コントロールの値を合算して表示します。 合計処理はクライアントに転送された JavaScript で実行されますのでサー バーのポストバックによるデータ転送を発生させることなく、合計値を計算表 示します。数値表示はカンマ区切りで表示することが可能です。集計のタイ ミングは指定したコントロールの変更イベントやフォーカスイベントを指定し てウェブサーバーにポストバックする以前に集計表示することができます。

合計対象となるコントロールの ID を TargetNames プロパティで指定すると 共に、合計を更新するタイミングを ControlName_Sum() という JavaScript 関数を呼び出すことで指定することが出来ます。以下は指定例です。

Onblur="javascript:ClientSum1_Sum()"

上記の指定をフォーカスを持つ TextBox 等に指定すると、TextBox がフォーカスを失った時に ClientSum の値も更新されます。

また、DigitInput の場合は DigitInput の ClientSumID プロパティに当コントロールのインスタンス ID を指定するだけで合計集計のタイミングを指定することが出来ます。

<u>プロパティ</u>

True 値設定時にはテキスト・ボックスにドロップシャドウフィルター効果を追加します。

<u>データ型</u> bool

DropShadowOffset

概要

DropShadowEffect プロパティ True 値設定時のドロップシャドウの位置を設定します。

<u>データ型</u> int32

ShadowColor

<u>概要</u> ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowDirection

概要

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の方向を指定します。時計の針の12時の位置を0とする時計回りの度数で指定します。

<u>データ型</u> Long

ShadowEffect

True 値設定時にはテキスト・ボックスにシャドウフィルター効果を追加 します。

<u>データ型</u> bool

ShadowStrength

概要

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の強さを指定します。範囲は 0~20 です。

<u>データ型</u> Long

TargetNames

<u>概要</u>

集計対象となるコントロールの ID を指定します。

<u>データ型</u> ControlNameCollection

ComboBoxEx

概要

Microsoft ASP.NET で標準のドロップダウンリストは html の select タグが ベースとなっていて、Windows では一般的な通常はキーボードによる文字列 が出来ません。当コントロールはテキスト入力とアイテムの選択を可能とし たコンポジットコントロールです。さらにシャドウエフェクトや Ime 制御等の拡 張機能も付加しています。



<u>利用例·注意事項</u>

当コントロールに選択肢を追加するコード例は以下になります。

ComboBoxEx1.Items.Add("0100 現金"); ComboBoxEx1.Items.Add("0101 普通預金");

このような形式で選択肢をセットした場合にはドロップダウン選択後にはエ ディット領域には設定した文字列全てがセットされます。(上の例では"0100 現金"と表示されます)

ListItem の Value と Text をそれぞれ設定して選択肢をセットするコード例は 以下のようになります。

ListItem tmp = new ListItem("現金", "0100"); ComboBoxEx1.Items.Add(tmp);

上記のように設定した場合にはドロップダウンには Text プロパティで設定した値が表示され、選択後には Value プロパティで設定した値が表示されます。

<u>プロパティ</u>

ClientDataID

概要

併用する ClientData コントロールの ID を指定します。Items プロパティ に設定がある場合は Items プロパティの設定が優先されます。また We b フォームの Page_Load イベントで選択肢データがロードされている場 合も ClientDatalD の設定は無視されます。

<u>データ型</u> String

DropDownRows

<u>概要</u>

ドロップダウンリストの表示行数を指定します。 値0を設定した場合は1 tems に指定されたアイテムの数だけリスト表示されます。

DropShadowEffect

<u>概要</u>

True 値設定時にはテキスト・ボックスにドロップシャドウフィルター効果 を追加します。

<u>データ型</u> bool

DropShadowOffset

概要

DropShadowEffect プロパティ True 値設定時のドロップシャドウの位置を設定します。

<u>データ型</u> int32

ImageFileName

概要

当コントロールの右横にある下矢印のイメージファイル名を指定します。 デフォルト値は /images/ComboDropDown.gif になります。ウェブサイ トの構成等により /images/フォルダー以外にイメージを配置する場合 はこのプロパティを変更してください。また CombDropDown.bmp 以外 のサイズ、色のイメージを指定した場合はコントロールの外観が崩れる ことがありますのでご注意ください。

<u>データ型</u> string

ImeMode

概要

キーボード入力時の IME 状態をセットします。

<u>データ型</u> WebMan.ImeState

ltems

<u>概要</u>

ドロップダウンリストの表示項目を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowColor

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowDirection

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の方向を指定します。時計の針の12時の位置を0とする時計回りの度数で指定します。

<u>データ型</u> Long

ShadowEffect

<u>概要</u>

True 値設定時にはテキスト・ボックスにシャドウフィルター効果を追加 します。

<u>データ型</u> bool

ShadowStrength

概要

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の強さを指定します。範囲は 0~20 です。

<u>データ型</u>

Long

TextAlign

<u>概要</u>

テキストのアライメントをしています。左右を指定できます。

<u>データ型</u> WebMan.TextAlign

DateInput

<u>概要</u>

西洋暦日付入力専用のコンポジット・コントロールです。DateInputFormat プロパティの選択により多くの入力形式を選択可能です。入力時バリデーションは ClientValidation プロパティの設定によりブラウザーのクライアント・スクリプトでのチェックが可能です。入力結果は Text プロパティに格納されます。



<u> プロパティ</u>

ClientValidation

<u>概要</u>

None 以外を設定した場合には各テキスト・コントロールからフォーカス が移動する際に日付けの入力チェックが実行されます。Altert を選択 した場合にはメッセージ・ボックスによるエラー表示がクライアントスクリ プトで実行されます。Correction 選択時のエラーでは DefayltYear,Defa ultMonth,DefaultDay が設定されます。うるう年のチェックに関しては年 の入力が設定されていてかつ、4桁の年入力形式が選択されている場 合に実行されます。

<u>データ型</u> ClientValidationType

DateInputFormat

<u>概要</u>

日付けの入力形式を選択します。17種類の形式から選択可能です。 入力形式は Japanese プリフィックスのあるものは年、月、日のテキスト が表示されます。それ以外はスラッシュが表示されます。

<u>データ型</u> WebMan.DateInputFormat

DateLabelStyle

<u>概要</u> Full 設定時はスラッシュを各テキスト・ボックスの間に表示します。

<u>データ型</u> WebMan.DateLabelStyle

DateTextStyle

概要

Text プロパティに取得するテキストの形式を選択します。Simple を選 択した場合スラッシュ等のディリミタは添付されません。Full を選択した 場合には DateInputFormat の形式に従って、スラッシュたは年月日が ディリミタとして使われます。年、月、日のデータにはそれぞれ先頭に ゼロがパッドされます。

<u>データ型</u> WebMan.DateTextStyle

<u>概要</u>

日付けのデフォルトを文字列で指定します。2桁までの文字列で設定してください。

<u>データ型</u> String

DefaultMonth

概要

月デフォルトを文字列で指定します。2桁までの文字列で設定してください。

<u>データ型</u> String

DefaultYear

概要

年のデフォルトを文字列で指定します。4桁までの文字列で設定してく ださい。

<u>データ型</u> String

DateInputJp

概要

和暦日付入力専用のコンポジット・コントロールです。DateInputFormat プロ パティの選択により多くの入力形式を選択可能です。入力時バリデーション は ClientValidation プロパティの設定によりブラウザーのクライアント・スクリ プトでのチェックが可能です。入力結果は Text プロパティに格納されます。

平成 💌 闰 月 Η

<u>プロパティ</u>

ClientValidation

概要

None 以外を設定した場合には各テキスト・コントロールからフォーカス が移動する際に日付けの入力チェックが実行されます。Altert を選択 した場合にはメッセージ・ボックスによるエラー表示がクライアントスクリ プトで実行されます。Correction 選択時のエラーでは DefayltYear,Defa ultMonth,DefaultDay が設定されます。うるう年のチェックに関しては年 の入力が設定されていてかつ、4桁の年入力形式が選択されている場 合に実行されます。

<u>データ型</u> ClientValidationType

DateInputFormat

<u>概要</u>

日付けの入力形式を選択します。17種類の形式から選択可能です。 入力形式は Japanese プリフィックスのあるものは年、月、日のテキスト が表示されます。それ以外はスラッシュが表示されます。

データ型

WebMan.DateInputFormat

DateLabelStyle

<u>概要</u>

Full 設定時は年月等を各テキスト・ボックスの間に表示します。

<u>データ型</u> WebMan.DateLabelStyle

DateTextStyle

<u>概要</u>

Text プロパティに取得するテキストの形式を選択します。Simple を選択した場合スラッシュ等のディリミタは添付されません。Full を選択した 場合には DateInputFormat の形式に従って、スラッシュたは年月日が ディリミタとして使われます。年、月、日のデータにはそれぞれ先頭に ゼロがパッドされます。

<u>データ型</u> WebMan.DateTextStyle

DefaultDay

<u>概要</u> 日付けのデフォルトを文字列で指定します。2桁までの文字列で設定し てください。

<u>データ型</u> String

DefaultEra

概要

年号コンボを表示している場合に年号のデフォルト値を文字列で指定 します。年号の文字列を設定してください。

<u>データ型</u> String

DefaultMonth

概要

月デフォルトを文字列で指定します。2桁までの文字列で設定してください。

<u>データ型</u> String

DefaultYear

年のデフォルトを文字列で指定します。4桁までの文字列で設定してく ださい。

<u>データ型</u> String

ShowEraCombo

概要

ture 設定時は年号を設定するセレクターを表示します。

<u>データ型</u> Bool

DigitInput

概要

標準の TextBox コントロールを数値入力専用の機能を追加したコントロールです。外観は以下のようになります。(左:ドロップシャドウ効果,右:シャドウ 効果)数値とカンマ、マイナス符号、小数点以外のデータはキーボードから の入力を受け付けませんのでアプリケーションでのバリデーションを簡略化 することが出来ます。また IME については常にディスエーブル状態に設定されます。



プロパティ

ClientSumID

概要

合算値を表示する ClientSum コントロールの ID を指定します。 ID 値は ケースセンシティブになりますのでご注意ください。 間違った ID を設定 した場合には実行時にクライアントの javascript エラーで通知されます。 合計を合算表示するタイミングは Comma プロパティの設定に依存して キー入力時、ロストフォーカス時となります。また、ClientSum コントロー ルの TargetNames プロパティに当 DigitInput の ID を指定することも必 要になります。

<u>データ型</u> String

Comma

概要

数値をカンマでフォーマットする場合は当プロパティを設定します。フォ ーマットする場合には1文字入力毎、フォーカス損失時を設定可能です。

<u>データ型</u>

WebMan.CommaStyle

制約事項

クライアント javascript のイベント仕様により、1文字入力毎のカンマ・ フォーマットを選択した場合には OnTextChanged イベントは発生しま せん。

DecimalPoint

概要

小数点以下桁数を設定します。値 0 設定をした場合には小数点以下 の数値入力を受け付けません。デフォルト値は 0 です。小数点は数値 が先行する場合のみ入力可能となります。

<u>データ型</u> Int32

DropShadowColor

<u>概要</u>

DropShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

データ型

System.Drawing.Color

DropShadowEffect

概要

True 値設定時にはテキスト・ボックスにドロップシャドウフィルター効果 を追加します。

<u>データ型</u> bool

DropShadowOffset

概要

DropShadowEffect プロパティ True 値設定時のドロップシャドウの位置を設定します。

<u>データ型</u> int32

PositiveOnly

概要

True 値設定時にはマイナス符号を数値の先頭に入力可能とします。

<u>データ型</u> Bool

ShadowColor

概要

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowDirection

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の方向を指定します。

<u>データ型</u>

Long

ShadowEffect

概要

True 値設定時にはテキスト・ボックスにシャドウフィルター効果を追加 します。

<u>データ型</u> bool

ShadowStrength

概要

<u>ShadowEffect</u> プロパティ True 設定時に影の強さを指定します。範囲は 0~20 です。

<u>データ型</u> Long

StripText

概要

True 値設定時にはカンマを削除して Text プロパティを返します。

<u>データ型</u> bool

Text

概要

DigitInput の数値を設定、保持します。値を設定する場合は、Comma プロパティが True 設定であればカンマ区切りでない数値でもカンマ区 切りで整形し Text プロパティとして保持されます。

<u>データ型</u> String

TextAlign

概要

テキストのアライメントをしています。左右を指定できます。

<u>データ型</u> WebMan.TextAlign

DropShadowLabel

概要

ドロップ・シャドウ・フィルター効果を付加したラベル・コントロールです。外観 は以下のようになります。

DropShadowLabel



ShadowColor

<u>概要</u>

影の部分の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

Shadow0ffset

影を表示する位置をオフセットで指定します。

<u>データ型</u>

System.Web.UI.WebControls.Unit

FadeLabe I

概要

フェードイン・フェードアウト可能なラベル・コントロールです。フェードの開始 はクライアントのスクリプトで行います。以下はフェードインを開始するボタン 場合の例です。

<input name="btn" value="fadein" type="button" onclick="javascript:web man_fadein(FadeLabel1)" >

クライアントスクリプトでは webman_fadein/webman_fadeout 関数を呼び出す ことでラベルのフェードイン・フェードアウトが実行できます。パラメータは Fa deLabel オブジェクトを指定します。フェードアウト状態の FadeLabel は不可 視状態なので onclick イベントが発生しないことにご注意ください。

プロパティ

Duration

概要

フェードするまでの時間を設定します。(秒)

<u>データ型</u> Int32

FadeOnClick

概要

True 設定時には FadeLabel をクリックしたときにフェードアウトする設 定にします。

GlowLabel

<u>概要</u>

グロー・フィルター効果を付加したラベル・コントロールです。 外観は以下の ようになります。



<u> プロパティ</u>

GlowColor

<u>概要</u> グロー効果部分の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

GrowStrength

<u>概要</u> グロー効果の強度を指定します。

<u>データ型</u> Int32

GradiantButton

概要

グラディアント効果を付加したボタンです。Windows XP のボタンのような効 果を XP 以外の OS で実行するブラウザーでも表示可能とします。表示され るテキストの X 方向は常にセンタリングされますのでテキストが完全に表示 されるサイズをフォームデザイン時に設定します。以下は表示サンプルです。 (特別なブラウザー命令を使っているため、IE での実行時には問題な〈表示 されますが、VS.NET でのデザイン時にはイメージの外枠のみ表示されま す)

OK	
<u> </u>	
DrowTextShadow	
<u>概要</u> True 設定の場合にはテキストの影を表示します。	
<u>データ型</u> bool	
TextTopMargin	
<u>概要</u> Text 表示 Y 位置を指定します。	
<u>データ型</u> Integer	

ImageEx

概要

拡張イメージ表示コントロールです。標準のイメージ表示に多くの機能を付加しました。以下はサンプル表示例です。左が元のイメージ、中央は Blur を

適用、右は Xray を適用したものです。



Engrave

<u>概要</u>

True 設定時にはイメージを EngraveBias プロパティの設定に従い、エングレープ表示します。

<u>データ型</u>

Bool

EngraveBias

概要

Engrave 表示設定時に設定エングレーブ表示の強さを指定します。

<u>データ型</u> Int32

GrayScale 概要 True 設定時にはイメージをグレースケール表示します。 データ型 Bool Invert 概要 True 設定時にはイメージの色をインバート表示します。 データ型 Bool

<u>概要</u>

Blur プロパティの True 設定時に当プロパティを True に設定した場合 にはぼかしに影の効果を追加します。

<u>データ型</u> bool

Mask

<u>概要</u>

True 設定時には MaskColor プロパティで指定した色をマスクしてイメ ージを表示します。

<u>データ型</u> bool

MaskColor

概要

Mask プロパティ True 設定時に参照されます。マスクする色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

Mirror

概要

True 設定時にはイメージを左右逆に表示します。

<u>データ型</u> bool

Opacity

<u>概要</u>

イメージの透過度を指定します。値は 0~1.00 までの範囲で指定します。

<u>データ型</u> Double

PixelRadius

<u>概要</u>

Blur プロパティの True 設定時にぼかしのピクセル半径を指定します。

値は0~20の範囲で指定します。

<u>データ型</u> Int32

Rotation

<u>概要</u>

イメージを回転表示します。以下は値と回転度数の関係です。

	0	0度	
	1	90度	
	2	180度	
	3	270 度	
<u>デ</u> Int	ー 夕 <u></u> 32	<u>U</u>	
Shadow)paci	ty	
概: Blu 値 デdoi	要 ur プロ は 0 ~ ー <u>タ型</u> uble	コパティの Tr - 1.00 の範囲 2	ue 設定時にイメージの影の透過度を設定します。 で指定します。
Xray			
<u>概</u> イン デ	<u>要</u> ページ ータ型	を Xray 表示 』	します。

bool

ImageTrans

イメージ遷移フィルター効果を不可したイメージ表示コントロールです。 複数 のイメージを切り替える場合に遷移フィルター効果を付加することが出来ま す。

イメージの切り替えはクライアントの javascript 関数を呼び出すことで実現します。Javascript の関数名は ToggleProcName プロパティで指定できます。 デフォルトは toggleImage になります。

Javascript 関数の呼び出し方法はたとえば html ボタンをウェブフォームに 張った場合はウェブフォームの編集画面で対象となる html ボタンに onclick ="javascript:toggleImage();"を追加します。

<u> プロパティ</u>

Bands

概要

TransType プロパティに Blind を選択した場合バンドの数を指定します。

<u>データ型</u> Int32

BlindDirection

<u>概要</u>

TransType プロパティに Blind を選択した場合バンド方向を指定します。 上下左右を指定できます。

<u>データ型</u> BlindDirectionType

Direction

方向指定可能なイメージ効果に対して方向を指定します。方向設定可 能な TransType プロパティは Burn,Wipe,RandomBars です。水平・垂直 を指定できます。

<u>データ型</u> DirectyonType

Duration

概要

効果が完了するまでの時間を秒単位で設定します。当プロパティの設 定が有効な ImageTransType プロパティ設定は、Burn,Blinds,CheckerB oard,Fade,Inset,Wipe,Iris,Pixelate,RadialWipe,RandomBars,Dissolve,Slid e,Spiral,Streatch,Strips,Zigzag です。1秒以下の値は小数点をセットし て指定できます。

<u>データ型</u> Single

Fade0verlap

概要

画像がオーバーラップしている時間を秒単位で設定します。当プロパティの設定が有効な ImageTransType プロパティ設定は Fade です。1秒 以下の値は小数点をセットして指定できます。

<u>データ型</u> Single

GradientSize

<u>概要</u>

ImageTrnsType プロパティ設定が Wipe 効果時に漸次的色変化の塗り つぶしサイズを指定します。サイズはイメージ全体に対するパーセント 指定になります。

データ型

Single

GridSizeX

概要

ImageTrnsType プロパティ設定が Spiral,Zigzag 効果時に格子の X 方向サイズを指定します。サイズはイメージ全体に対するパーセント指定になります。

<u>データ型</u> Int32

GridSizeY

概要

ImageTrnsType プロパティ設定が Spiral,Zigzag 効果時に格子の Y 方向サイズを指定します。サイズはイメージ全体に対するパーセント指定になります。

<u>データ型</u> Int32

.

ImageFileNames

概要

表示するイメージファイル名を指定します。一番値の少ないインデック スに設定されたイメージが初期表示されます。イメージファイル名には 拡張子も含めて指定します。表示できるイメージのタイプは IE で表示 可能なイメージに限定されます。

当コレクションに指定したイメージは実際のイメージデータファイルが II S から参照できるフォルダーに存在することが必要になります。フォル ダーは ImagePathName プロパティで指定することができます。

以下は Visual Studio.NET のイメージコレクションエディタでの ImageFil eNames プロパティ指定画面例です。

	image Url コレクション エディタ				
	SURVER:		WebMan Imagel	い プロパティ (12):	
	0 WebMan3mageUrl	+	日その他		
	2 WebManJinageUri	_	Url	no1.jpe	
		-			
	38966(A) 84886(B)	1			
	3200/Q/ H944(D/	1			
			OK	キャンセル	<u>∧,1,7</u>
	<u>データ型</u> ImageUrlCollection				
Image	ePathName				
	概要				
	ImageFileNames プロパティで	「指定し	たイメージス	ファイル名が存	存在するデ
	ィレクトリを指定します。				
	データ型				
	String				
Iris	Style				
	-				

<u>概要</u> TransType プロパティに Iris を選択した場合に、さらに詳細な効果を選 択します。

Circle	円形に効果を表示します。
Cross	クロス型に効果を表示します。
Plus	プラス型に効果を表示します。
Square	四角形に効果を表示します。

Start 星型に効果を表示します。

<u>データ型</u>

IrisStyleType

MaxSquare

概要

TransType プロパティに Pixelate を選択した場合にピクセル効果を表示する四角形のサイズをピクセルで指定します。

<u>データ型</u> Int32

Motion

概要

TransType プロパティに Burn, Iris, Strip, Wipe を選択した場合に効果の 動作方向(内側、または外側)を指定できます。

<u>データ型</u> MotionType

RadialWipeStyle

概要

TransType プロパティに RadialWipe を選択した場合に効果スタイルを 指定できます。

Clock	時計の回転のような効果
Wedge	〈さび型に効果
Radial	放射状の効果

<u>デ</u>ータ型

RadialWipeStyle

イメージを表示するクライアントスクリプトの関数名を指定します。

<u>データ型</u> String

SlideStyle

概要

TransType プロパティに Slide を選択した場合にスライド効果の詳細を 指定できます。SliderStyle に指定できる値の詳細は以下です。

Hide	元の画像を移動するときに新しい画像は下に固定さ
	れて表示します。
Push	古い画像を押し出すときに新しい画像も同時に移動し
	て押し出すような効果で新しい画像を表示します。
Swap	古い画像と新しい画像の上下関係を入れ替えるイメ
	ージで新しい画像を表示します。

<u>データ型</u> SlideStyleType

Spoke

概要

TransType プロパティに Wheel を選択した場合に分割数を指定します。

<u>データ型</u> Int32

SquaresX

概要

TransType プロパティに ChekerBoard を選択した場合に X 方向の分割
数を指定します。

<u>データ型</u> Int32

SquaresY

概要

TransType プロパティに ChekerBoard を選択した場合に Y 方向の分割 数を指定します。

<u>データ型</u> Int32

StretchStyle

<u>概要</u>

TransType プロパティに Stretch を選択した場合に効果の詳細を指定します。StretchStyle に指定できる値の詳細は以下です。

Hide	元の画像は固定したまま隠されます。
Push	元の画図は縮小して隠されます。
Spin	新しい画像が中央から伸張して表示されます。

データ型

StreatchStyleType

StripMotion

概要

TransType プロパティに Strips を選択した場合に効果の詳細を指定します。StripMotion に指定できる値の詳細は以下です。

LeftDown	左上から右下方向に遷移します。
LeftUp	左下から右上方向に遷移します。
RightDown	右上から左下方向に遷移します。
RightUp	右下から左上方向に遷移します。

<u>データ型</u> StripMotionType

TogglieProcName

<u>概要</u>

指定したイメージを順次入れ替え表示するクライアントスクリプトの関数名を指定します。

<u>データ型</u>

String

TransType

概要

このプロパティの設定によりイメージ遷移時の効果を指定することが出来ます。以下の17種類の効果から選択します。

Burn	燃焼しているような効果を付加します。
Blinds	ブラインドを開くような効果を付加します。
ChekerBoard	チェッカー盤のような効果を付加します。
Fade	フェード効果を付加します。
Inset	インセット効果を付加します。
Iris	虹彩のような効果を付加します。
Pixelate	ピクセル効果を付加します。
RadialWipe	ラジアルワイプ効果を付加します。
RandomBars	ランダムバー効果を付加します。
RandomDissolve	ランダム溶解効果を付加します。
Slide	スライド効果を付加します。
Spiral	スパイラル効果を付加します。
Stretch	ストレッチ効果を付加します。
Strips	ストライプ効果を付加します。
Wheel	ホィール効果を付加します。
Wipe	ワイプ効果を付加します。
ZigZag	ジグザグ効果を付加します。

ImageTransType

WipeMotion

概要

TransType プロパティに Wipe を選択した場合に効果の詳細を指定します。WipeMotion に指定できる値の詳細は以下です。

Forward	
Reverse	

<u>データ型</u> WipeMotionType

MotionLabel

<u>概要</u>

モーション・フィルター効果を付加したラベルです。外観は以下のようになり ます。



<u> プロパティ</u>

Direction

概要

モーションの方向を設定します。0~360までの角度を設定します。時 計12時の方向が0になります。

<u>データ型</u> Int32

概要

モーションのぼかしの強さを設定します。0~50までの整数値を指定します。

<u>データ型</u> Int32

PrefCode

概要

日本の都道府県コードを選択・表示するコントロールです。ウェブアプリケー ションで入力する場面の多い都道府県コードですが毎度のように都道府県 名の配列等をコードする手間が省けます。

<u> プロパティ</u>

Code

概要

日本の都道府県コードを設定、取得できます。初期値は ASP.NET の Page_Load イベント等でセットします。デフォルト値は 0(北海道)です。

<u>データ型</u> Int32

<u>サンプルコード</u>

private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
 if(!IsPostBack)
 {
 PerfCode1.Code = 10; // 群馬県
 }
}

<u>イベント</u>

CodeChanged

概要

プルダウンの動作により都道府県コードが変更になった際に発生する イベントです。

<u>サンプルコード</u> private void PerfCode1_CodeChanged(object sender, System.EventArgs e) { Label1.Text = Convert.ToString(PerfCode1.Code); }

PieChart

概要

シンプルなパイ・チャートを表示するコントロールです。以下はチャートの表 示例です。



```
チャート・データは WebMan.ChartData クラスにセットして BuildImage メソッド
を呼び出すことで生成されます。以下は Visual Basic.NET でのサンプル・コ
ード例です。
```

```
Private Sub Page Load(ByVal sender As System.Object, ByVal e
As System.EventArgs) Handles MyBase.Load
  Dim dt1(3) As WebMan.ChartData
  dt1(0) = New WebMan.ChartData("BMW", 20, Color.Red)
  dt1(1) = New WebMan.ChartData("Mercedes", 12, Color.Silver)
  dt1(2) = New WebMan.ChartData("VOLVO", 16, Color.Green)
  dt1(3) = New WebMan.ChartData("Toyota", 10, Color.Yellow)
 With PieChart1
      .Data = dt1
      .BuildImage()
  End With
End Sub
以下は C#によるコード例です。
private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
  WebMan.ChartData [] dt =
  {
   new WebMan.ChartData("VW",40,Color.Red),
    new WebMan.ChartData("Ford",35,Color.BlueViolet),
    new WebMan.ChartData("Audi",25,Color.Cyan),
    new WebMan.ChartData("BMW",20,Color.Cyan),
    new WebMan.ChartData("Peugerot",15,Color.Gold),
  }:
  PieChart1.Data = dt;
  PieChart1.BuildImage();
}
```

<u>プロパティ</u>

Caption

<u>概要</u>

パイチャートのタイトル文字列を設定します。タイトルは水平方向センタ リングして表示されます。

<u>データ型</u> string

CaptionFont

概要

Caption の表示フォントを指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Font

CaptionHeight

<u>概要</u> Caption の高さを指定します。

<u>データ型</u> System.Web.UI.WebControls.Unit

Data

<u>概要</u>

パイ・チャートに表示するデータをセットします。

<u>データ型</u>

WebMan.ChartData

ImageFileFormat

概要

BuildImage メソッドにより作成されるイメージファイルの形式を指定しま す。初期値は GIF です。変更する場合には ImageFileName プロパティ の拡張子と合致して Web で表示可能なイメージ・タイプを指定します。 (System.Drawing.Imaging.ImageFormat を利用しているため一部 Web では表示出来ないファイル形式も選択可能なのでご注意(ださい)

データ型

System.Drawing.Imaging.ImageFormat

ImageFileName

概要

パイ・チャートイメージを表示するファイル名です。ImageFileFormat プロパティによるファイル形式指定に沿ったファイル拡張子を指定します。

<u>データ型</u> String

ImageFilePath

<u>概要</u>

パイ・チャートイメージを表示するサーバーのパスです。IIS が書き込み 可能なディレクトリを指定します。

<u>データ型</u>

String

LegendAlign

概要

凡例表示のアライメントを指定します。右、左、センタリングが可能です。 左または右の場合、SideMargin 位置にアライメントします。

<u>データ型</u>

ChartLegendAlign

LegendFont

<u>概要</u> 凡例のテキスト部分のフォントを指定します。

データ型

bool

SideMargin

<u>概要</u>

チャートの左右のマージンを指定します。

<u>データ型</u> System.Web.UI.WebControls.Unit

 ShadowColor

 概要 棒グラフの影のサイズを pixel で指定します。BarWidth 以上のサイズ は指定できません。サイズ 0 の場合は影を描画しません。

 データ型 Int32

 ShowLegend

<u>概要</u>

True 設定時には凡例を表示します。LegendFont プロパティの設定が 前提となります。LegendFont 設定が無い場合は例外が発生します。

<u>データ型</u> bool

Sort

<u>概要</u>

Data プロパティで指定されたデータのソート指定をします。昇順・降順 が指定できます。

<u>データ型</u> WebMan.SortOrder

TopMargin

<u>概要</u>

グラフの上部マージン値を pixel 指定します。 グラフの描画範囲を超え た値は設定できません。

<u>データ型</u> Int32

<u>メソッド</u>

BuildImage

概要

パイ・チャートのイメージを生成します。このメソッドを呼び出してイメージを作成するまでの初期状態ではイメージが存在しない状態でイメージタグが表示されるますのでご注意ください。

ProgressBar

概要

プログレス・バー・コントロールです。

in progress...

<u> プロパティ</u>

```
CurrentValue
```

<u>概要</u>

プログレス・バーの現在値を指定します。MinValue と MaxValue の範囲 で指定します。

<u>データ型</u> double

Direction

<u>概要</u> プログレス・バーの方向をセットします。水平または垂直を設定できま す。

<u>データ型</u> WebMan.DirectionType

ForeColor

<u>概要</u>

_____ プログレス・バーの色を指定します。 デフォルト色は Navy です。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

MaxValue

<u>概要</u> プログレス・バーが 100%表示の時の値を指定します。

<u>データ型</u>

double

MinValue

<u>概要</u>

プログレス・バーが 0%表示の時の値を指定します。

<u>データ型</u> double

Text

<u>概要</u> プログレス・バーに表示されるテキストです。水平方向にセンタリングし て表示されます。Direction プロパティを Vertical 設定した場合は表示 されません。 データ型

<u>string</u>

イベント

GroupClicked

ItemClicked

ShadowLabe I

概要

シャドウ・フィルター効果を付加して表示するラベルコントロールです。以下

は表示例です。



<u> プロパティ</u>

ShadowColor

<u>概要</u> 影の部分の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowDirection

<u>概要</u>

影の方向を指定します。時計の針の12時の位置を0とする時計回りの 度数で指定します。

<u>データ型</u> Int32

ShadowStrength

<u>概要</u>

影の強さ指定します。範囲は0~20です。

<u>データ型</u> Int32

ShortCutMenu

<u>概要</u>

Microsoft OutLook のようなショートカットメニューを ASP.NET で実現するウェブコントロールです。以下は実行時の画面例です。



<u>概要</u> グループボタンのフォントを設定します。

<u>データ型</u> FontInfo

CurrentGroupIndex

<u>概要</u>

現在選択されているグループのインデックスを保持します。

<u>データ型</u> Int32

DownArrowImageFileName

概要

グループを下方向にスクロールさせる下矢印イメージのファイル名を指定します。デフォルトは downarrow.gif が設定されています。このイメージファイルは製品と一緒に提供されています。ユーザー定義のイメージ で置き換えたい場合にはこのプロパティにて指定します。

<u>データ型</u> String

Group

概要

メニューのグループを指定するコレクションです。Visual Studo.NET の コレクションエディターでデザイン時に編集することができます。以下は 編集画面例です。Caption プロパティにグループボタンに表示される文 字列を指定します。Items プロパティにはグループに属するショートカッ トアイテムを指定します。

	SOOroup コレクジョン エディタ			
	50.7%图:		WebMan SCGrou	p ブロパティ(型)
	WebMan.SOGroup	+	日その他	
	1 WebMan.SOGroup		Caption	eroup1
		•	Jens	NECCUD
)道加(A) 前级和(B)		ок	*vite
Imag	<u>データ型</u> SCGroupCollection eFilePath			
	<u>概要</u> 当コントロールから参照する・ フォルダー名を指定します。ラ <u>データ型</u> String	イメージ デフォル	ファイルを作 トは/images	呆持するサーバー上の らになります。
UpAr	rowImageFileName			

<u>概要</u>

グループを上方向にスクロールさせる上矢印イメージのファイル名を指定します。デフォルトは uparrow.gif が設定されています。このイメージファイルは製品と一緒に提供されています。ユーザー定義のイメージで置き換えたい場合にはこのプロパティにて指定します。

<u>データ型</u> String

SCGroupオブジェクトプロパティ

Caption

<u>概要</u>

グループボタンに表示されるプロパティを指定します。

<u>データ型</u> String

SCItemオブジェクトプロパティ

Caption

概要

アイテムアイコンの下に表示されるキャプション文字列を指定します。

<u>データ型</u> String

ImageFileName

概要

ショートカットアイテムのイメージを表示します。32x32 ピクセルのイメージを指定するとデフォルト設定で OutLook メニューの外観になります。

<u>データ型</u> String

ItemID

概要

ItemClick イベントに通知される ItemID を指定します。アプリケーション においてクリックしたアイテムをユニークに識別する必要がある場合に は、すべてのショートカットメニューで一意になる ID を指定します。

データ型

URL

概要

アイテムに関連する URL がある場合は指定します。

<u>データ型</u> String

イベント

GroupClicked

概要

グループボタンがクリックされた場合に発生するイベントです。クリック されたグループは EventArg の Index プロパティにより参照します。以 下はグループのキャプションを参照するコード例です。

Label1.Text = ShortCutMenu1.Group[e.Index].Caption;

ItemClicked

概要

アイテムがクリックされた場合に発生するイベントです。クリックされた アイテムは EventArg の Index プロパティにより現在選択されているグ ループに属するアイテムのインデックスが通知されます。また、同じく E ventArg の Item プロパティにより直接参照することもできます。以下は コード例です。

Label1.Text = e.Item.URL;

SliderBar

概要

スライダー・バーコントロールです。マウスでスライダーを設定することで浮

動小数点値を設定するユーザーインターフェースを提供します。



<u> プロパティ</u>

CurrentValue

概要

スライダー・バーの現在値を指定します。MinValue と MaxValue の範囲 で指定します。MaxValue/MinValue の設定と実際のスライダーの画面 上でのサイズにより CurrentValue が MaxValue/MinValue にセットしな い場合もありますのでご注意ください。そのような場合は CurrentValue を四捨五入する等の処理をして数値を補正してください。

データ型

double

Direction

概要

スライダーバーの方向を選択するプロパティです。 垂直または水平を 選択できます。

<u>データ型</u>

WebMan.DirectionType

ImagePath

<u>概要</u>

スライダー・バーのイメージを保持しているパスを指定します。スライダ ー・バーのイメージは WebMan のインストール・ディレクトリの images フ ォルダーにありますが、このフォルダーの内容を IIS の images フォルダ ーにコピーしない場合や、サイトにより別途イメージを保持するフォルダ ーを定義している場合はこのプロパティにスライダー・バーイメージが 存在するフォルダーを指定します。スライダー・バー・イメージの実際の ファイル名は slTop.gif,slBottol.gif,slLeft.gif,slRight.gif になります。

<u>データ型</u> String

MaxValue



スライダー・バーのスケールの場所を指定します。垂直スライダー・バーの場合は左右を、水平スライダー・バーの場合は上下を選択できます。

<u>データ型</u> WebMan.ScalePositionType

SpinEdit

概要

数値入力テキストに上下ボタンを追加したコンポジットコントロールです。整 数値のみ入力可能となっています。Delta プロパティの変更により上下ボタ ンを押したときの加算値、減算値を設定できます。IME は常にディスエーブ ルとなります。また WebMan の他の入力系コントロールと同様にシャドウ効 果等が可能になっています。



bool

DropShadowOffset

概要

DropShadowEffect プロパティ True 値設定時のドロップシャドウの位置を設定します。

ShadowColor

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

<u>データ型</u>

System.Drawing.Color

ShadowDirection

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の方向を指定します。時計の針の12時の位置を0とする時計回りの度数で指定します。

<u>データ型</u> Long

ShadowEffect

概要

True 値設定時にはテキスト・ボックスにシャドウフィルター効果を追加します。

<u>データ型</u> bool

ShadowStrength

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の強さを指定します。範囲は 0~20 です。

<u>データ型</u>

Long

TaxInput

<u>概要</u>

数値入力専用の DigitInput コントロールを縦に2個並べたコンポジット・コン トロールです。上段で金額、下段で消費税を編集・入力します。消費税は金 額入力に追従して計算され、下段に表示されます。伝票入力アプリケーショ ン向けのコントロールです。

105,000
5,000

プロパティ

Comma

概要

数値をカンマでフォーマットする場合は当プロパティを設定します。フォ ーマットする場合には1文字入力毎、フォーカス損失時を設定可能です。

<u>データ型</u>

WebMan.CommaStyle

制約事項

クライアント javascript のイベント仕様により、1文字入力毎のカンマ・フォーマットを選択した場合には OnTextChanged イベントは発生しません。

DecimalPoint

概要

小数点以下桁数を設定します。値 0 設定をした場合には小数点以下 の数値入力を受け付けません。デフォルト値は 0 です。小数点は数値 が先行する場合のみ入力可能となります。

DropShadowEffect

<u>概要</u>

True 値設定時にはテキスト・ボックスにドロップシャドウフィルター効果 を追加します。

<u>データ型</u> bool

DropShadowOffset

<u>概要</u>

DropShadowEffect プロパティ True 値設定時のドロップシャドウの位置を設定します。

<u>データ型</u> int32

PositiveOnly

<u>概要</u>

True 値設定時にはマイナス符号を数値の先頭に入力可能とします。

<u>データ型</u> Bool

ShadowColor

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の方向を指定します。時計の針の12時の位置を0とする時計回りの度数で指定します。

<u>データ型</u> Long

ShadowEffect

概要

True 値設定時にはテキスト・ボックスにシャドウフィルター効果を追加 します。

<u>データ型</u> bool

ShadowStrength

概要

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の強さを指定します。範囲 は 0~20 です。

<u>データ型</u> Long

StripText

概要

True 値設定時にはカンマを削除して Tax/Text プロパティを返します。

<u>データ型</u> bool

Тах

<u>概要</u>

消費税額を保持・設定します。

<u>データ型</u>

String

TaxInputStyle

概要

消費税入力処理方法を設定します。以下の値が設定可能です。

Disabled	消費税入力を禁止します。
ReadOnly	消費税部分は読込専用になります。ユーザーに
	よる編集はできませんが、金額入力に追従して
	消費税額が表示されます。
Enabled	消費税部分が編集可能になります。金額入力に
	追従して消費税額が表示されます。

<u>データ型</u>

TaxStyle

Text

<u>概要</u> 金額を保持・設定します。	
<u>データ型</u> String	

TextAlign

<u>概要</u>

テキストのアライメントをしています。左右を指定できます。

<u>データ型</u>

WebMan.TextAlign

TextBoxEx

概要

標準の TextBox コントロールに Ime 制御やシャドウ効果等を追加した拡張 TextBox コントロールです。主な仕様は WebControl 標準の TextBox に準 拠します。ここでは拡張部分についての説明になります。以下は実行時のイ メージです。



<u>概要</u>

キーボード入力時の IME 状態をセットします。

<u>データ型</u> WebMan.ImeState

ShadowColor

概要

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の色を指定します。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

ShadowDirection

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の方向を指定します。時計の針の12時の位置を0とする時計回りの度数で指定します。

<u>データ型</u> Long

ShadowEffect

<u>概要</u> True 値設定時にはテキスト・ボックスにシャドウフィルター効果を追加 します。 <u>データ型</u> bool

ShadowStrength

<u>概要</u>

ShadowEffect プロパティ True 設定時に影の強さを指定します。範囲は 0~20 です。

<u>データ型</u> Long

概要

テキストのアライメントをしています。左右を指定できます。

<u>データ型</u> WebMan.TextAlign



フォントの設定に対してプルダウン・メニューの高さが十分でない場合には、 プルダウン・メニューとメイン・メニューの間に隙間が空く場合がありますの で Visual Studio.NET でのデザイン時にメニューの高さの調整をしてください。

<u> プロパティ</u>

開く

保存 終了

Caption

<u>概要</u>

メニューに表示するキャプションを文字列の2次元配列で指定します。 最初の要素はメインメニューバーに表示されます。2次元配列はジャグ 配列の形式で指定することが必要です。キャプションは実行時に Page_

```
Load イベントで設定しますので、Visual Studio.NET でのデザイン時に
はメインのキャプション・バーが空白表示になります。ご注意ください。
```

<u>データ型</u> String[][]

```
<u>サンプル・コード</u>
以下は C#でのメニュー設定例です。
```

```
private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
  string [] menu1 =
  {
     "ファイル", "新規", "開く", "保存
                                        "終了
   };
   string [] menu2 =
   {
     "編集", "カット",
                      "コピ
   };
   string []menu3 =
   {
     "オプション", "オプション"
   };
   string [][] mi = {
      menu1,
      menu2,
      menu3,
   };
   WebMenu1.Captions = mi;
}
```

MajorIndex

<u>概要</u>

マウス選択時の Caption 配列の 1 次元の配列を保持します。参照のみ可能です。

<u>データ型</u> Int32

<u>概要</u>

マウス選択時の Caption 配列の 2 次元の配列を保持します。参照のみ可能です。

<u>データ型</u> Int32

MouseBackColor

<u>概要</u>

プルダウン・メニューのマウス選択時の背景色を設定します。 デフォル トは DeepBule です。

<u>データ型</u> System.Drawing.Color

MouseForeColor

<u>概要</u>

プルダウン・メニューのマウス選択時の文字の色を設定します。 デフォルトは白です。

<u>データ型</u>

System.Drawing.Color

Selected

<u>概要</u> 選択されたメニューのキャプションを保持します。 <u>データ型</u> string

WaveLabel

概要

ウエーブフィルター効果を付加してテキストを表示するラベルです。以下は サンプルです。



<u> プロパティ</u>

Add 概要 True 設定の場合はフィルターされたイメージを元のイメージにオーバ ーレイして表示します。 データ型 bool Frequecy 概要 ウェーブする回数を指定します。 データ型

LightStrength

Int32

<u>概要</u>

ライト効果の強度を指定します。指定範囲は0~100です。

<u>概要</u> ウェーブの開始する位相を指定します。範囲は0~100です。 <u>データ型</u>

Int32

Int32

Strength

<u>概要</u> ウェーブの強さを指定します。範囲は0~100です。 データ型

ZipCodeInput

概要

郵便番号入力専用コントロールです。2つの TextBox で構成されるコンポジ ット・コントロールです。入力結果は Text プロパティに郵便番号が返されま す。



<u> プロパティ</u>

MajorCode

<u>概要</u>

郵便番号の先頭3桁を設定・取得します。

Int32

MinorCode

概要

郵便番号の後4桁を設定・取得します。

<u>データ型</u> Int32

Text

概要

<u>____</u>入力された郵便番号を保持します。

<u>データ型</u> string

TextAlign

<u>概要</u>

テキストのアライメントを指定します。左右を指定可能です。

<u>データ型</u>

WebMan.TextAlign

TextStyle

<u>概要</u>

Text プロパティで返す郵便番号の形式を指定します。

Simple	上位コードと下位コードを単純に連結して返 します。
WithHypen	上位コードと下位コードをハイフンで連結して 返します。

WebMan.ZipCodeTextStyle



Q1 BarChart/BarCode/PieChartのイメージが書き込めない

BarChar/BarCode/PieChart コントロールはイメージファイルを ImageP ath プロパティ等で指定したフォルダーに出力します。IIS のデフォルト 設定ですと IIS で管理するフォルダーにはファイルを出力できない設定 になっているため、上記コントロールで BuildImage メソッドを呼び出すと、 「GDI+のエラー」で実行がトラップされます。

この現象を回避するには IIS 設定でイメージの書込ディレクトリのパー ミッションを設定する必要があります。コントロール・パネルのインター ネットサービスマネジャーから規定の Web サイトの images ディレクトリ をマウスの右クリックで表示される「アクセス許可ウィザード」で書込み 可能設定をするのがよいと思われます。以下は IIS 5.0 での設定画面 です。「書き込み」にチェックを入れることでイメージ出力が可能となりま す。

NanTest070パティ		
「いりり」「キュメント」ディレ	아이 선수고リティ HTTP ヘッダー カスタム エラー Server	Extension
このリソースへの接続時に使	用ちれるエンテンツの場所に	
(F)	表示されたディレクトリのD	
0	助のエピュージにある共有ディルりわり回	
0	URL ላለመቻብ እንትመ	
ローカル パス(空):	WiebManTest	
E スクリプト ソース アクセス	① F ログ アクセス(W)	
反 読み取り(8)	▶ このリソースに索引き付けるΦ	
▶ 書き込み(回)		
□ ディレクドリの参照(型)		
アナリケーションの設定		
アプリケーション名90:		Θĺ
開始点:	(現定の_¥WebManTest	
実行アクセン 推びと	2/0/21-0/8	<u>ه/-</u>
THE COLUMN	750-	80
アノリナーションは酸塩と	Ψ (7 - W)	

Q2 実行環境 IIS の設定について
弊社製品は Microsoft .NET framework 環境が前提となっています。 この環境を IIS に設定する方法はマイクロソフト社の Web Site 等のナ レッジベースに文書番号 JP312073 として登録されていますので、こち らをご参照ください。尚 URL は

http://support.microsoft.com/default.aspx?kbid=312073

となります。(2003/10 現在)

Q3 ImeMode が Disable にならない

InputBoxEx コントロールの ImeMode プロパティを完全に動作させるた めには IE のバージョンが 5.01 以上を必要とします。詳細はマイクロソ フト社のナレッジベースに文章番号 J050922 として登録されています。

Q4 CssClass プロパティについて

CssClass プロパティは WebControl クラスを継承して作成したウェブサ ーバーコントロールではベースクラスのプロパティですがプロパティ・ボ ックスに表示されてしまいます。このプロパティにスタイルシートのクラ ス名を指定した場合、スタイルシートの設定内容によってはサーバー ウェブコントロールの外観が正常に表示できなくなる場合がありますの で、スタイルシートで設定しても外観や動作に問題が無いことを確認し てスタイルシート設定をしてください。同様にベース・クラスから継承さ れたプロパティが表示されているウェブサーバーコントロールもありま すが、設定しても動作や表示には関係しませんのでプロパティ表示は 無視していただいて問題ありません。

Q5 テーブルにセットしたコントロールが実行時に表示が下にズレる

ComboBoxEx コントロール等を html のテーブルのセルに入れる場合<t d>タグに valign=top を設定しないと、ブラウザー表示時に下方向にズ レて表示されることがあります。Visual Studio.NET の Web フォームデ ザイナーのデザインモードではこの属性をセットすることができないの で、HTML 編集モードで直接のように設定します。



BarChartへのデータロード

```
private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
    WebMan.ChartData [] dt1 =
    {
        new WebMan.ChartData("BMW", 20, Color.Red ),
        new WebMan.ChartData("Mercedes", 12, Color.Blue ),
        new WebMan.ChartData("VOLVO", 16, Color.Green ),
        new WebMan.ChartData("Toyota", 10, Color.CornflowerBlue ),
    };
    BarChart1.BarWidth = 20;
    BarChart1.MinValue = 8;
    BarChart1.YAxisDivision = 6;
    BarChart1.Data = dt1;
    BarChart1.BuildImage();
```

```
DigitInputの初期値設定
```

```
private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
    if(!!sPostBack)
    {
        DigitInput1.Text = "1234";
    }
}
```

WebMenuへのデータロード

```
private void Page_Load(object sender, System.EventArgs e)
{
    string [] menu1 = {
        "製品サポート", "新規", "開く", "保存", "終了"
    };
    string [] menu2 = {
        "カンパニープロファイル", "cut", "copy"
```



<u>BarChartデータロード</u>

```
Private Sub Page_Load(ByVal sender As System.Object, ByVal e
As System. EventArgs) Handles MyBase. Load
  Dim dt1(3) As WebMan.ChartData
  dt1(0) = New WebMan.ChartData("BMW", 20, Color.Red)
  dt1(1) = New WebMan.ChartData("Mercedes", 12, Color.Silver)
  dt1(2) = New WebMan.ChartData("VOLVO", 16, Color.Green)
  dt1(3) = New WebMan.ChartData("Toyota", 10, Color.Yellow)
  With PieChart1
      .Data = dt1
      .BuildImage()
  End With
End Sub
WebMenuデータロード
Private Sub Page_Load(ByVal sender As System.Object, ByVal e
As System. EventArgs) Handles MyBase. Load
 Dim m1() As String = {"製品サポート", "新規", "ログ", "FAQ"}
 Dim m2() As String = {"プロファイル", "本年度", "昨年度"}
 Dim m3() As String = {"問合先", "本社", "荻窪事業所"}
 Dim mi()() As String = \{m1, m2, m3\}
 WebMenu1.Captions = mi
```

End Sub

WebMan Controls for ASP.NET 調查依頼

会社名 登録ユーザー名 製品シリアル番号 製品パージョン 電話番号 ファックス番号 電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とパージョン OSパージョン IISパージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	日付
登録ユーザー名 製品バージョン 電話番号 ファックス番号 電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とパージョン OSパージョン IISパージョン 期間合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	会社名
製品シリアル番号 製品バージョン 電話番号 ファックス番号 電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とバージョン OSパージョン IISパージョン 北間合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	登録ユーザー名
製品バージョン 電話番号 ファックス番号 電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とバージョン OSバージョン IISバージョン 北間合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	製品シリアル番号
電話番号 ファックス番号 電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とパージョン OSパージョン IISパージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	製品バージョン
ファックス番号 電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とパージョン OSパージョン IISパージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	電話番号
電子メールアドレス 使用パソコン機種 ホスト言語とパージョン OSパージョン IISパージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	ファックス番号
使用パソコン機種 ホスト言語とパージョン OSパージョン IISパージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	電子メールアドレス
ホスト言語とバージョン OSパージョン IISバージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	使用パソコン機種
<u>いらパージョン</u> <u>いらパージョン</u> あ問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	ホスト言語とバージョン
IISバージョン お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。	OSバージョン
<u>お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。</u>	IISバージョン
	お問合わせ内容、問題記述など、具体的に再現可能なようにご記入ください。
法合約	大小 姿 料

WebMan Controls for ASP.NET version 2.00 プログラミング・マニュアル

第1版

2003年10月20日

版権·著作 株式会社テクナレッジ Printed In Japan